

高校入試にハシの持ち方

長崎県佐世保市の久田学園佐世保女子高校(久田順子校長)は、来春の入試で「箸の持ち方」を検査項目に取り入れることを決めた。生活習慣や、食へることに對する最低限のマナーが身につけているかを見るのが狙い。合否判定に一定程度反映させる。内閣府食育推進室は「そういう出題例は聞いたことがない」と話しており、箸をきちんと持てない子供が増えている中、ユニークな試みと言えそうだ。

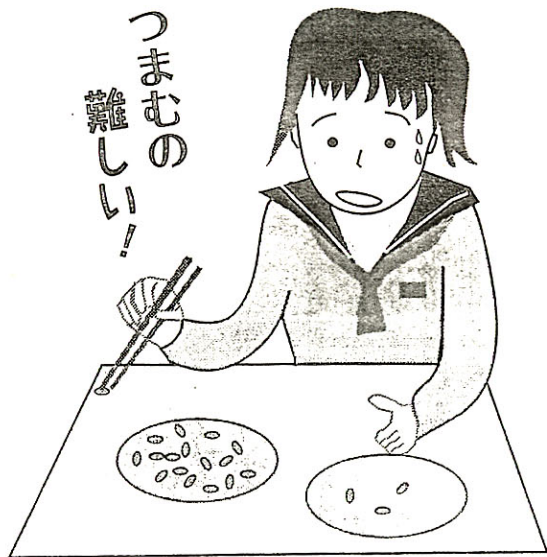
佐世保の私立女子校

同校は1902年創立の私立校で、食育に力を入れていゝる。来春募集する新1年生は普通科の40

「生活習慣とマナー見ます」

人。一般入試と推薦入試を実施するが、一般入試は「数学、国語、総合問題」、推薦入試は「面接、作文」に加えていずれも「箸の持ち方」を設けた。試験時間は3分程度。箸で豆をつまんで移動させるなどさせ、「持ち方が適切か」「スムーズに使いこなせているか」を試験官がチェックする。久田活史・副校長によると、箸を正しく持てない生徒は少なくないという。久田副校長は「今はずまく持てなくても、試験までに努力して持てるようになる意欲を期待している」と話している。

【小野英行】



イラスト・国分修